

ぶんかざい おおた

第2号

大田区教育委員会では、文化財の保護と活用を目的として、「調査や報告書の発行」、「保存事業に対する補助金の交付」、「地域別史跡めぐり」、「講演会」等を行っています。また、埋蔵文化財の発掘届や発見届を受け付けています。今回は主に、平成10年度に実施した文化財に関する事業をご紹介します。

今後とも国民の共有財産である「文化財」の保護に、なお一層のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成11年10月15日発行
(年1回発行予定)
東京都大田区教育委員会
社会教育課文化財係
〒144-8623
大田区蒲田
五丁目13番14号
Tel 03(5744)1449
fax 03(5744)1539

平成10年度大田区文化財保存事業報告

★区指定文化財 海難供養塔(三原講) 保存修復

この供養塔は安政2年(1855)に、海難事故にあった人々を供養するために、建てられたものです。台石には約300名に及ぶ寄進者の名が刻まれています。

今回、石質の腐朽裂化が進行している部分に対し、合成樹脂による強化保存処置(剥落止め)を施しました。

★区指定文化財 大日如来坐像(金剛院) 燻蒸

この像は、元禄7年(1694)に、惣檀徒が施主となり、京仏師により造立された金剛院の本尊です。仏像本体、とくに右膝部と腰部の虫損がはなはだしかったため、虫害が広がらないように、燻蒸処置を施しました。

★区指定文化財 妙見菩薩立像(照栄院) 燻蒸

この像は、寛文4年(1664)に、瑤林院(紀伊藩祖徳川頼宣の妻・加藤清正娘)が施主となり、京仏師により造立されました。岩座の虫損がはなはだしいので、虫害が広がらないように、燻蒸処置を施しました。

★区指定文化財 社殿(久が原東部八幡神社) 虫菌害防除

社殿の屋根は昭和53年までは茅葺きでした。現在は銅板葺きの屋根となっていますが、江戸時代末期の神社建築の特色を今

も伝えています。

今回、拝殿向拝の彫刻部分がシバンムシ類による虫害、床下は腐朽菌の被害が著しかったため、薬剤を塗布しました。

★都指定文化財 厳正寺水止舞(厳正寺水止舞保存協力会) 道具整備 (都費補助事業)

太鼓・笛・着物の新調、舞台床敷板改修工事を行いました。

★国指定重要有形民俗文化財 大森及び周辺地域の海苔生産用具(区立郷土博物館) 保存修理 (国庫補助事業)

国指定となっている879点の海苔生産用具のうち、527点の保存処理(脱塩処理ほか)を平成8年度から11年度にかけて行っています。

★国指定重要文化財 本門寺五重塔(池上本門寺) 解体修理 (国庫補助事業)

平成9年度から平成13年度にかけて計画されている全解体事業です。解体作業は、平成10年6月、塔の最上部である相輪の取り外しから始まり、作業が進められました。現在は解体作業が終了し、解体部材の調査や補修が行われています。なお、組立工事は本年度中に始まります。

文化財調査報告

§ 指定文化財調査 § 区指定文化財の基礎資料を充実し、整備するため、平成10年度は9件の調査を行いました。そのなかからいくつかをご紹介します。

経蔵 (池上本門寺)

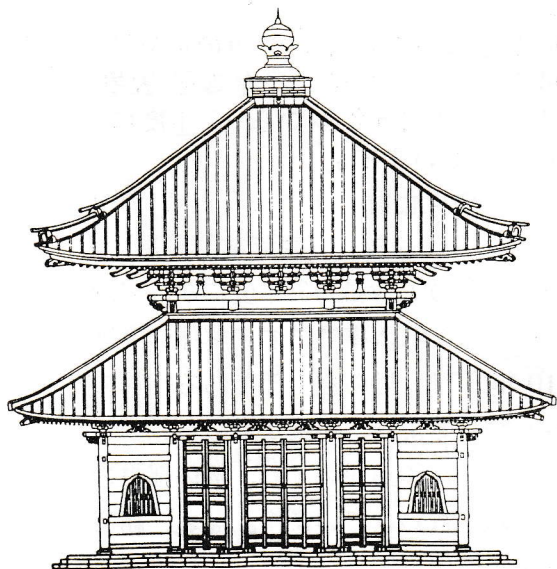
池上 1-1-1

平成9年度は、経蔵全体の実測調査を行い、図面等の資料整備を行いました。平成10年度はその経蔵の内部にある八角形の書架である輪蔵についての実測調査を行い、さらに経蔵内部に残された銘文の調査を行いました。

経蔵は方三間裳階付きで、瓦棒銅板葺・宝形造りとなっています。『新編武蔵風土記稿』によると、当初三間四方の規模を有し、宝永7年(1710)に焼失、享保2年(1717)に再建したが破壊され、天明4年(1784)に再度再建したと記されています。経蔵の内部柱等には、江戸時代後期に、江戸各地から参詣に訪れた人々の氏名や、工事に関与した職人等の氏名が刻まれており、平成10年度はその調査も行いました。

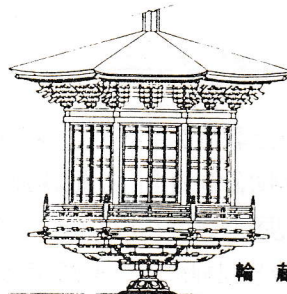
輪蔵は、禅宗様を基調とし、和様の要素も組み入れた江戸時代後期の典型的な折衷様建築で、板葺き屋根の回転式の八角経庫です。

調査の結果、経蔵は昭和46年、現在地に



経蔵

移築されるまで大工事の跡が見られないことから、建築年代は、天明4年と推定されました。また、輪蔵の建立年代については、輪蔵と経蔵が、最初から一対のものとして計画されたと推測できる構造を確認しました。



輪蔵 (経蔵内部)

阿弥陀如来立像 (善永寺)

萩中 1-11-2

松材寄木造、漆箔。玉眼嵌入。像高約80cm。この像は善永寺の本尊です。弘化二年(1845)の善永寺過去帳によれば、恵心僧都の作とされ、本寺が浄土宗鎮西派に属していた慶長年間以前の本尊と伝えられます。

調査の結果、像容や衣文、大粒の螺髪などの特徴から、室町時代後半のころの作品と考えられます。

不動明王立像 (正蔵院)

本羽田 3-10-8

松材寄木造、古色。玉眼嵌入。像高約65cm。この像は正蔵院の本尊で、伝教大師作との伝承を持っています。調査の結果、造像年代は室町時代、宝徳2年(1449)の作と推定されました。

◆平成10年度指定文化財調査◆ 9件

- ・経蔵 (池上本門寺)
- ・阿弥陀如来立像 (善永寺)
- ・不動明王立像 (正蔵院)
- ・日蓮聖人坐像 (樹林寺)
- ・日蓮聖人坐像 (長勝寺)
- ・日蓮聖人坐像 (安詳寺)
- ・日蓮聖人坐像 (長慶寺)
- ・古文書[本門寺文書] (池上本門寺)
- ・古文書[本行寺文書] (本行寺)

埋蔵文化財発掘調査報告

久原小学校内遺跡

久原小学校内遺跡は、昭和 53 年に体育館の改築に伴い、旧石器時代の遺跡が発見され、調査が行われました。今から約 25000 年前の大田区最古の遺跡であることが確認されています。

平成 10 年 6 月から 12 月にかけて、校舎の改築に伴い、校舎西側の拡張用地約 1500 m²の発掘調査を行い、旧石器時代から平安時代にかけての遺跡が発見されました。

旧石器時代の調査では、関東ローム層の土層（今から約 15000 年前）から石器 2 点と礫 1 点が発見されました。

縄文時代の調査では、今から約 3500 年前の掘立柱建物跡が 5 棟と土坑 16 基及び土器埋設遺構 1 基が発掘されました。建物跡のうち 2 棟は、5 m × 3 m の規模です。ほかの 3 棟は 2 m × 3 m の規模でした。これらの建物跡は、収穫物を貯蔵した高床の倉庫跡か、高床の住居跡と考えられます。

弥生時代の調査では、今から 1900 年前の住居跡が 15 軒発掘されました。1 軒の住居跡は、火災で焼失した住居跡で、一辺 8 m × 7 m の隅丸方形で、稲の豊作を祈るために作られたと考えられる祭祀用の赤く彩色された台付甕形土器が出土しました。

古墳時代の調査では、住居跡が 2 軒発掘されました。特に一軒の住居跡は、一辺 11 m の大形隅丸方形をしており、区内で発見された古墳時代の住居跡では一番大きなものでした。集落の集会所として使用されたと考えられます。

平安時代の調査では、今から約 1100 年前の、火葬した人骨を納めた蔵骨器を埋納したお墓が 2 基、発掘されました。これは火葬骨を土師器の長甕に納め、甕の口を下にして埋葬したものです。

この火葬骨を埋納する風習の出現は、大田区内に仏教による火葬の風習がすでに伝わったことを物語るもので、また、葬られ

た人物は中央との関わりをもつ人であったと考えられます。

久ヶ原遺跡

平成 10 年 7 月、久が原四丁目において、個人住宅の建設に伴う発掘調査（調査面積約 60 m²）が行われました。調査の結果、弥生時代の住居跡が 1 軒と古墳時代末期から飛鳥時代にかけての住居跡が 1 軒が発見されました。古墳時代の末期の住居跡は、カマドを北にもつ一辺 6 m の方形です。出土遺物には、土師器の甕形土器と東海産と推定される 7 世紀前半代の須恵器の坏などが出土しています。

今回の調査では、古墳時代末期の、久ヶ原横穴墓群を造営した人々の集落跡の一部をはじめ確認できました。

山王遺跡

平成 11 年 3 月から 4 月にかけて、山王二丁目において、共同住宅の建設に伴う発掘調査（調査面積約 450 m²）が行われました。調査の結果、弥生時代中期後半の住居跡 1 軒と古墳時代前期の住居跡 2 軒、戦国時代の竪堀跡 1 条が発見されました。

今回調査の結果、東京湾西側における本格的な初期弥生時代集落跡である山王遺跡の住居跡と、戦国時代、新井宿（山王台地一帯）を領地としていた梶原日向守関連と推定される竪堀跡を確認しました。

◆平成 10 年度埋蔵文化財調査◆ 試掘調査のみ 7 件、発掘届 6 7 件 本調査 4 件

- ・久が原四丁目（久原小学校内遺跡）
- ・久が原四丁目（久ヶ原遺跡）
- ・久が原六丁目（久ヶ原遺跡）
- ・山王二丁目（山王遺跡）

おしらせ

東京文化財ウィーク (11/7~15)

この期間、都内全域で国・都指定文化財が公開されるほか、各市区町村との連携により各種文化財事業を行います。大田区では、次の事業を実施します。

◆ 文化財ウィークマップの配布

10月中旬より、次のところにて、文化財ウィークマップを配布します。

▽配布場所 社会教育課文化財係・郷土博物館

◆ 文化財の公開

① 「日蓮上人入滅の旧跡」

(池上 2-10-5 大坊本行寺)

11月8日~14日 午前9時~午後4時

② 「法華経版木」 (大坊本行寺)

11月14日(日) 午前9時~午後4時

③ 「池上本門寺宝塔」

(池上 1-1-1 池上本門寺)

11月5日(金)・12日(金)

午前11時~午後3時

◆ 史跡めぐり「大森地区」

~善慶寺義民六人衆墓を中心に~

▽日時 10月30日(土)午後1時45分~3時45分

▽コース 郷土博物館会議室→万福寺(馬具・山門ほか)→路線バス→善慶寺(新井宿義民六人衆墓・新井宿村名主惣百姓等訴状写)→新井宿薬師堂(桃雲寺再興記念碑ほか)(大雨中止)

▽定員 抽選で100名

▽申込方法 往復ハガキ。参加者全員の住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号を明記。10月20日(水)必着。一枚で複数申込めます。

▽申込先 〒144-8623 大田区教育委員会社会教育課文化財係 Tel 5744-1449

◆ 文化財保護強調週間記念講演会

「文化財保存修理の現場から」

~本門寺五重塔を中心として~

▽日時 11月7日(日)午後2時~4時

▽会場 大田区立池上会館

▽講師 本門寺五重塔保存修理事務所長
原島 誠

▽定員 抽選で100名。

▽申込方法 往復ハガキ。住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号明記。10月29日必着。(定員に満たない場合は、30日以降電話受付)。

▽申込先 史跡めぐりと同じ

文化財パネル展

本門寺五重塔修理状況・指定文化財調査などの写真パネルを期間中展示します。

▽日時 11月1日(月)~11月12日(金)、
午前8時30分~午後5時(最終日は3時まで)。

▽場所 区役所1階ロビー

▽問合せ先 社会教育課文化財係 Tel 5744-1449

「大田の史跡めぐり 改訂版」好評発売中

平成9年に発行し、ご好評を頂いていた「大田の史跡めぐり」につきましては、しばらく在庫切れの状態が続き、大変ご迷惑をおかけしておりました。このたびの改訂は、区役所本庁舎ほか公共施設の移転等に伴う使用地図の改定が主なものです。

区内の指定文化財を中心に、モデルコースを12地区に設定し、解説をしています。

▽定価 250円

▽販売場所 社会教育課文化財係・区役所2階区政情報コーナー・郷土博物館・区内書店の一部。

▽問合せ先 社会教育課文化財係 Tel 5744-1449

11月1日~7日は
文化財保護強調週間です。
~みんなで守ろう文化財~



文化財堂 三ノホールマーク